



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 25 日

上場会社名 四国化成工業株式会社  
コード番号 4099

上場取引所 東証第一部  
URL <http://www.shikoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼 C . E . O . (氏名) 山下 矩仁彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理担当 (氏名) 富田 俊彦 TEL (0877)22-4111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	10,965	9.4	1,452	16.4	1,602	27.1	827	11.6
19年3月期第1四半期	10,020	6.7	1,248	17.5	1,261	12.8	741	14.5
19年3月期	41,120		5,310		5,229		2,793	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	14.06	14.06
19年3月期第1四半期	12.65	12.62
19年3月期	47.62	47.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	59,512	32,297	54.0	545.78
19年3月期第1四半期	56,019	29,102	51.7	493.77
19年3月期	58,846	31,189	52.7	528.03

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	558	547	473	5,047
19年3月期第1四半期	21	839	618	4,276
19年3月期	4,710	3,054	652	5,500

### 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	21,500 5.3	2,900 1.0	2,900 1.0	1,700 1.2	28.93
通期	42,500 3.4	5,450 2.6	5,400 3.2	3,000 7.4	51.05

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日～平成19年6月30日）の連結業績は化学品事業が輸出を中心に好調を維持したことなどにより、売上高は109億65百万円（前年同期比9.4%増）営業利益は14億52百万円（前年同期比16.4%増）と増収・増益となりました。また、経常利益は受取配当金の増加などにより16億2百万円（前年同期比27.1%増）と増益となりました。以上の結果、当第1四半期の純利益は、特別損失として役員退職慰労引当金の過年度分1億75百万円を計上しましたが、8億27百万円（前年同期比11.6%増）と増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## 化学品事業

無機化成品：ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄が、内外ともに順調でありました。また、二硫化炭素は引き続いて内外で拡販に注力し、無水芒硝は販売シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

有機化成品：殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は国内では伸び悩みましたが、海外においては好調な米国市場や、為替の影響もあり増収となりました。また、耐熱電線向けのセイクは収益体質の改善に努め、排水処理剤であるハイポルカは市場開拓に注力しました。

ファインケミカル：プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースが輸出を中心に引き続き好調に推移しました。また、エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類の国内販売が堅調に推移しました。

以上の結果、化学品事業の売上高は68億13百万円（前年同期比12.9%増）営業利益は16億62百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

## 建材事業

壁材：商品構成を充実したほか、消費者の認知度向上を目的に実施しているテレビCMを継続実施しましたが、内装分野での販売が伸び悩みました。

エクステリア：景観分野で、公共物件の需要が減少していることを受け、民間物件の獲得に注力したことなどにより売上高は前年を上回りました。住宅分野の販売は前年並みにとどまりましたが、エクステリア全体では増収となりました。

以上の結果、売上高は39億92百万円（前年同期比4.1%増）営業利益は1億79百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

## その他の事業

その他の事業は、情報システム事業、フーズ事業ともに堅調に推移し、売上高は1億59百万円（前年同期比6.5%増）営業利益は5百万円（前年同期は6百万円の営業損失）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期の財政状態は、総資産が595億12百万円となり、前連結会計年度末比で6億66百万円増加しました。

売上の増加に伴い売掛債権が増加したことや、保有株式の時価が上昇したことなどによるものです。また、利益剰余金が増加し、借入金の返済を進めたことから、有利子負債が減少しました。

以上の結果、負債の部は272億14百万円となり、前連結会計年度末比で4億41百万円減少、純資産の部は322億97百万円となり、前連結会計年度末比で11億8百万円増加しました。これにより、自己資本比率が前連結会計年度末の52.7%から54.0%と上昇しました。

## キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前第1四半期純利益が14億20百万円、減価償却費が3億55百万円でありましたが、売上債権の増加や法人税等の支払いなどにより5億58百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産や投資有価証券の取得による支出がありましたが、定期預金の減少により5億47百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や長期借入金の返済などにより4億73百万円の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ4億53百万円減少し、50億47百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しについては、本年5月14日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準を基本としておりますが、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、以下の事項について簡便な手続を採用しております。

退職給付引当金の計上基準 ... 当社及び連結子会社は、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期において発生していると認められる額を計上しております。

法人税等の計上基準 ... 簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、当連結会計年度より内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更は、役員退職慰労金の将来の支給時における一時的な費用負担を回避し、役員の内任期間にわたり合理的に費用を期間配分することにより、期間損益計算の適正化及び財務内容の健全化を図るために行なったものであります。

この変更に伴い、当第1四半期発生額11百万円は販売費及び一般管理費に計上し、過年度発生額175百万円を特別損失に計上しております。

この結果、従来の方と比較して、営業利益、経常利益は11百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は145百万円減少しております。

## 5.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		(参考) 前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
<b>(資産の部)</b>						
流動資産	( 24,956)	( 44.6)	( 27,792)	( 46.7)	( 27,983)	( 47.6)
現金及び預金	4,325		5,062		6,457	
受取手形及び売掛金	13,530		14,955		13,649	
有価証券	21		-		6	
たな卸資産	6,138		6,628		6,734	
繰延税金資産	848		840		869	
その他	128		330		285	
貸倒引当金	36		25		20	
固定資産	( 31,063)	( 55.4)	( 31,719)	( 53.3)	( 30,863)	( 52.4)
有形固定資産	( 18,093)	( 32.3)	( 17,398)	( 29.2)	( 17,317)	( 29.4)
建物及び構築物	5,329		5,065		5,134	
機械装置及び運搬具	3,361		2,953		3,118	
土地	8,742		8,409		8,408	
建設仮勘定	122		299		41	
その他	536		670		614	
無形固定資産	( 300)	( 0.5)	( 265)	( 0.5)	( 283)	( 0.5)
投資その他の資産	( 12,669)	( 22.6)	( 14,055)	( 23.6)	( 13,261)	( 22.5)
投資有価証券	11,944		13,272		12,487	
その他	727		783		774	
貸倒引当金	3		0		0	
<b>資産合計</b>	<b>56,019</b>	<b>100.0</b>	<b>59,512</b>	<b>100.0</b>	<b>58,846</b>	<b>100.0</b>
<b>(負債の部)</b>						
流動負債	( 15,141)	( 27.0)	( 15,802)	( 26.5)	( 16,349)	( 27.8)
支払手形及び買掛金	7,594		8,810		8,498	
短期借入金	3,400		2,500		2,500	
一年内返済長期借入金	401		693		693	
未払法人税等	544		578		1,269	
その他	3,200		3,219		3,388	
固定負債	( 11,775)	( 21.0)	(11,412)	( 19.2)	( 11,306)	( 19.2)
長期借入金	6,857		6,043		6,345	
繰延税金負債	949		803		537	
再評価に係る繰延税金負債	1,424		1,859		1,859	
退職給付引当金	2,351		2,317		2,375	
役員退職慰労引当金	-		145		-	
負ののれん	90		68		74	
その他	103		173		114	
<b>負債合計</b>	<b>26,917</b>	<b>48.0</b>	<b>27,214</b>	<b>45.7</b>	<b>27,656</b>	<b>47.0</b>
<b>(純資産の部)</b>						
株主資本	( 24,465)	( 43.7)	( 26,391)	( 44.3)	( 25,722)	( 43.7)
資本金	6,867	12.3	6,867	11.5	6,867	11.7
資本剰余金	5,745	10.2	5,741	9.7	5,744	9.7
利益剰余金	11,986	21.4	13,811	23.2	13,190	22.4
自己株式	134	0.2	29	0.1	80	0.1
評価・換算差額等	( 4,486)	( 8.0)	( 5,745)	( 9.7)	( 5,309)	( 9.0)
その他有価証券評価差額金	3,166	5.7	3,747	6.3	3,336	5.7
土地再評価差額金	1,352	2.4	1,994	3.4	1,994	3.4
為替換算調整勘定	33	0.1	3	0.0	22	0.1
少数株主持分	( 150)	( 0.3)	( 160)	( 0.3)	( 158)	( 0.3)
<b>純資産合計</b>	<b>29,102</b>	<b>52.0</b>	<b>32,297</b>	<b>54.3</b>	<b>31,189</b>	<b>53.0</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>56,019</b>	<b>100.0</b>	<b>59,512</b>	<b>100.0</b>	<b>58,846</b>	<b>100.0</b>

## (2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		(参考) 前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
<b>売 上 高</b>	10,020	100.0	10,965	100.0	41,120	100.0
売 上 原 価	6,082	60.7	6,794	62.0	25,301	61.5
売上総利益	( 3,938)	( 39.3)	( 4,170)	( 38.0)	( 15,819)	( 38.5)
販売費及び一般管理費	2,689	26.8	2,717	24.8	10,508	25.6
<b>営業利益</b>	( 1,248)	( 12.5)	( 1,452)	( 13.2)	( 5,310)	( 12.9)
営業外収益	( 119)	( 1.2)	( 208)	( 1.9)	( 236)	( 0.6)
受 取 利 息	10		22		47	
受 取 配 当 金	99		142		148	
為 替 差 益	-		28		-	
持分法による投資利益	-		-		0	
雑 収 入	10		15		40	
営業外費用	( 107)	( 1.1)	( 58)	( 0.5)	( 317)	( 0.8)
支 払 利 息	18		18		127	
手 形 売 却 損	2		2		13	
売 上 割 引	27		29		103	
為 替 差 損	49		-		59	
持分法による投資損失	7		1		-	
雑 損 失	1		6		14	
<b>経常利益</b>	1,261	12.6	1,602	14.6	5,229	12.7
特別利益	( 9)	( 0.1)	( 0)	( 0.0)	( 376)	( 0.9)
固定資産売却益	-		-		23	
投資有価証券売却益	-		-		3	
収用補償金	-		-		332	
貸倒引当金戻入益	9		0		10	
そ の 他	-		-		7	
特別損失	( 18)	( 0.2)	( 182)	( 1.6)	( 1,007)	( 2.4)
固定資産除却損	9		7		427	
固定資産売却損	0		-		3	
減 損 損 失	-		-		516	
過年度役員退職慰労 引当金繰入額	-		175		-	
特別退職金	-		-		50	
役員退職慰労金	8		-		8	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,252	12.5	1,420	13.0	4,599	11.2
法人税、住民税及び事業税	529		573		1,950	
法人税等調整額	20		16		154	
少数株主利益	2		2		10	
<b>四半期(当期)純利益</b>	741	7.4	827	7.5	2,793	6.8

## (3)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期	当第1四半期	(参考)
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	1,252	1,420	4,599
減価償却費	335	355	1,359
退職給付引当金の減少額( )または増加額	48	57	71
役員退職慰労引当金の増加額	-	145	-
受取利息及び受取配当金	109	164	196
支払利息	18	18	127
投資有価証券売却益	-	-	3
減損損失	-	-	516
有形固定資産除却損	9	7	427
有形固定資産売却益	-	-	23
有形固定資産売却損	0	-	3
収用補償金	-	-	332
売上債権の増加額( )	853	1,249	944
たな卸資産の減少額または増加額( )	100	138	675
仕入債務の増加額	24	203	862
未払金の増加額	301	5	227
未払費用の減少額( )または増加額	280	281	48
その他 (純額)	35	0	17
小計	680	541	6,052
利息及び配当金の受取額	109	164	196
利息の支払額	18	24	120
法人税等の支払額( )	750	1,240	1,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	558	4,710
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の償還による収入	-	6	15
有形固定資産の取得による支出	659	314	1,989
有形固定資産の売却による収入	5	-	256
有形固定資産の除却による支出	6	5	112
収用補償金による収入	-	-	180
投資有価証券の取得による支出	176	94	431
投資有価証券の売却による収入	-	-	6
貸付けによる支出	-	1	1
貸付金の回収による収入	1	1	4
定期預金の純増加額( )または減少額	10	963	910
その他 (純額)	7	7	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	839	547	3,054
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	900	-	-
長期借入による収入	-	100	100
長期借入金の返済による支出	105	402	425
ストックオプション行使に伴う自己株式売却による収入	32	49	94
自己株式の取得による支出	2	1	14
配当金の支払額	204	205	410
その他 (純額)	0	13	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	618	473	652
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	31	7
現金及び現金同等物の増加額( :減少額)	212	453	1,011
現金及び現金同等物の期首残高	4,489	5,500	4,489
現金及び現金同等物の期末残高	4,276	5,047	5,500

（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 8社

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社数 1社

3. 連結子会社の四半期連結決算日に関する事項

すべての連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

（セグメント情報）

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（平成18年4月1日から平成18年6月30日まで）

（単位 百万円）

	化学品 事業	建材事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,037	3,833	149	10,020	-	10,020
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	37	37	( 37)	-
計	6,037	3,833	187	10,057	( 37)	10,020
営業費用	4,665	3,611	193	8,470	301	8,772
営業利益	1,371	222	6	1,586	( 338)	1,248

当第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日まで）

（単位 百万円）

	化学品 事業	建材事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,813	3,992	159	10,965	-	10,965
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	-	54	56	( 56)	-
計	6,815	3,992	214	11,021	( 56)	10,965
営業費用	5,152	3,812	208	9,174	338	9,512
営業利益	1,662	179	5	1,847	( 394)	1,452

前連結会計年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位 百万円）

	化学品 事業	建材事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	23,075	17,121	923	41,120	-	41,120
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	227	229	( 229)	-
計	23,078	17,121	1,150	41,350	( 229)	41,120
営業費用	18,007	15,435	1,099	34,542	1,267	35,809
営業利益	5,071	1,686	50	6,808	( 1,497)	5,310